

RFMD ニュース



rfmd.com

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.

Brian K. Cockman, Public Relations Specialist

7628 Thorndike Road

Greensboro, NC 27409-9421, USA

電話: +1 (336) 678-8945

bcockman@rfmd.com

RFMD、DC/DC コンバータのラインアップを拡大

移動通信端末のバッテリー寿命と熱消費を改善

バルセロナ(スペイン)、2007年2月13日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードするRFMD社(ナスダック:RFMD)は本日、移動通信端末向けの低雑音、高効率DC/DCコンバータを2品種(RF9003/RF6280)発表した。DC/DCコンバータは、さまざまな出力電力レベルを有する移動通信端末の効率を改善するとともに、電池が放電可能な電圧範囲を拡大、最適化して電池寿命の向上と発生熱量の低減に貢献するデバイス。

機能の充実が進む次世代 EDGE や 3G マルチモードの携帯端末はこのような DC/DC コンバータを強く必要としている。Bluetooth®、GPS、WLAN 等がより多くの携帯端末に組み込まれるようになり、消費電流や効率に対する要求も強まっている。

一般的な独立タイプの DC/DC コンバータとは異なり、RFMD 社の DC/DC コンバータは世界最高レベルのパワーアンプ技術と最先端の低雑音 DC/DC コンバータ設計を組み合わせ、その性能向上と同社フロントエンド・ソリューションとのインタフェースを最適化している。RFMD 社の DC/DC コンバータの導入は端末機器の効率とパワーアンプの総合性能アップにつながり、次世代携帯端末の多機能化を可能にする。なお、この DC/DC コンバータは業界をリードする同社のフロントエンド・ソリューション専用ではなく、その他の様々な用途にも活用できる。

「当社は次世代移動通信端末の電源効率と性能の向上に必要となるアーキテクチャーや回路、コンポーネントの開発を続けています。新製品の DC/DC コンバータは当社 POLARIS™ EDGE トランシーバのオープンループ・ポワ変調方式に最適な補完デバイスで、EDGE や WCDMA のパワーアンプ・ファミリー用に最適化されています。」と RFMD 社のセルラー製品グループ担当副社長の Eric Creviston は語る。

携帯端末メーカーにとって、DC/DC コンバータの主な利点は 2 つあり、その 1 つは最適な出力レベル以外の出力でもパワーアンプの効率が改善されること。一般にパワーアンプは最大出力時に最大効率が得られるよう設計されているが、端末が最大出力となるのは携帯電話基地局からの距離が最も離れた場合だけで、一般的な利用条件、すなわち基地局に近い場所で使われる場合には低出力の動作になるため効率が低下する。これは効率の「バックオフ」と呼ばれるが、DC/DC コンバータは出力低減時にパワーアンプの効率を改善させるため、電池の寿命を向上し、長時間の通話を可能にする。

DC/DCコンバータのもう1つの利点は、電池の放電電圧特性上、その利用可能な範囲が拡大されることである。多くの回路は電池の供給電圧以下で動作するよう設計されているため、電池電圧と回路の最適

供給電圧の差分は電圧レギュレータ内で熱エネルギーとして消費されてしまうが、DC/DCコンバータを使えば、熱エネルギー損失を発生させずに電池電圧を回路の最適供給電圧に効率的に変更できるようになる。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD 社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイセス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェア製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センターを通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確実性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確実性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###